昭和47年3月5日

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話1・〒754—12
印刷 阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

№.244

町の住民登録人口
(47年2月29日現在) 前月比
世帯 2,015世帯 ＋2
人口 8.108人 ＋10
(男 3.820人 女4.288人)
国勢調査(昭和45年10月1日)
世帯 2.008世帯
人口 8.035人
(男 3.730人 女 4.305人)

「理解ある父親」像

71%が「趣味にあった暮し」望む

20歳の意識アンケート

新しく大人に仲間入りする人たちはどんな考え方をしているのか一町では、ことしの成人者百八人のうち、成人式の出席者六十八人に質問用紙を配り、式の会場で書いてもらいました。回答は四十三人（男・九、女・四人）で回収率は六三・二%。質問は全国青少年問題協議会がつくったものを準用しました。回答の結果をみると全般的「男女の意識差は一部を除いては同じような傾向でした。その中で親に対しては「その気持を理解する」ことを望み、自分の生活は「金や名誉を考えずに趣味にあったくらしをしたい」と望むのがめだっていました

阿知須が好き80%

『調査は健在ですか』は四十三人のうち母親だけが三人。両親ともないというのはなかった。

『家庭の悩みはあまりない、ぜんぜんない』が七・一四%。大いにある、少しあるが二八・六%。

『父と話をする』については話さない方がというのが六四・三%そのうち全然話さないというのが二・五%だった。しかも子は三分の二が全然話さないという。その理由は「話すことがない」というのがめだった。逆にほとんど話すというのが女子に多い。

『どんなおとうさんがよいか』は⑥子の気持を理解したうえできびしくする人五二・六%⑦即解したうえで見守る三四・二⑧何でもによらずきびしく望むのは七・九%。仕事や家庭生活面からみた場合は「仕事よりも家庭を」「家庭よりも仕事を大事にする」父を望むのが偶然にも三八・五%ずつ。母については家庭に専念するのを望むのが八・四%。

『子後の親を養うこと』については母は①自分の生活力に応じて扶養する四七・六%②どんなことをしてもも養う三二・〇%がめだつ。自分自身の力や公的保障すべきだというのも七・一%あった。

『今の日本の社会にあきたらないと感じていることがあるか』はあまりない、全然ないの二つを合わせて二六・一%、大いにある、少しあるが七三・九で、このうちわけはほぼ半分。不満の理由としては「正しいと思うことが通らない」が約三〇%あった。

『日本が世界に誇れるもの』は美しい国土がある、戦争を放棄している国である、自由が保障されている、などが多いが、誇るものがないというのも一一・五%あった。

『外国に対してどんな国になったがよいか』は世界平和の指導的役割を果すこと、を望むのが三分の一。ついで強硬な国への国際協力、世界が一つになるように二〇%台。

『日の丸の旗をみてどう思うか』は愛着を感じるのが四五・八、なつかしみや誇りを感じるというものばかり。反発を感じるというのはない。

『人の暮しにいろいろあるが、あなたは次のどれを選ぶか』というのは①金や名誉を考えずに自分の趣味にあった暮しをする七一・四②その日その日を のんきにくらす一四・三③自分のことを考えずに国家社会のためにすべてをささげる九・五④まじめに勉強して名をあげる四・八⑤一生けんめい働き倹約して金持ちになる⑥正しくないことは押しのけてでこまでも通す正しく生きる（なし）

『人の暮しにいろいろあるが、あなたは次のどれを選ぶか』というのは①金や名誉を考えずに自分の趣味にあった暮しをする七一・四②その日その日を のんきにくらす一四・三③自分のことを考えずに国家社会のためにすべてをささげる九・五④まじめに勉強して名をあげる四・八⑤一生けんめい働き倹約して金持ちになる⑥正しくないことは押しのけてでこまでも通す正しく生きる（なし）

『阿知須町について』は、好きまあまあすき八〇%。きらいというのは女子だけ（二・五）にみられた。好きな理由は、のんびりしている、生活環境がよいなどが約七〇%。人の気持があたたかい、生活が便利がそれぞれ一〇%強。そして将来も住みたいというのが四〇%でした。

（とじておくと便利です）

新入児を事故から守ろう

もうすぐ小学一年生。「人は右」「車は左」「青は進め」「黄は注意」「赤は止れ」
横断歩道は手をあげて渡るんだよ。ぼくも、わたしも気をつけて。
町では今年小学校に入学するお子さんの交通指導もおこないました。「かわいい新入児を交通事故から守りましょう」（写真は砂郷保育園で）

防ごう山火事

気なしの投げすて
山火事のもと

野焼きは連絡を

春先きは、一年中で一番山火事の発生しやすい季節です。

山火事の原因でめだつのは、たばこの吸がら、たき火の不始末です。春先きは空気も乾燥し、季節風も吹くなど、燃えやすい状態にあるからです。野山での火の取扱いにはくれぐれも注意ください。

なお、草焼きなど火事とまぎらわしい煙を出すときや、火災になる恐れのある行為をされるときは、必ず事前（三日前）に町交通防災対策室まで連絡ください。

緑を大切に

緑化運動はじまる

ことしも三月から五月まで緑化運動がすすめられます。

緑は私たちの生活にうるおいをもたせるために、欠くことのできないものです。本町では緑の茂る美しい町づくりをすすめるために一昨年「緑地管理条例」を設け町交通防災対策室まで連絡ください。

井関川沿いや岡山墓苑、児童公園などの樹木の保護と育成につとめています。もし、これらの樹木をいためると罰せられることになっていますが、この地区以外でも緑を可愛いがるようにつとめていきたいものです。

なお、この緑化運動に合わせて県では緑化運動バッジ（百円）と緑の羽根（十円）を発行しております。この「百信」はすべてのことに持とうということはむつかしいが、自分の仕事を通してもつことは誰にもできることではないでしょうか。

本町にも割当がありました。このうち青い羽根は婦人会を通じて募金の協力をお願いしています。

乙協力をお願いします。

お知らせ

上り下り五本廃止

十五日から宇部線の電車

国鉄は山陽新幹線大阪・岡山間の開通に伴ない三月十五日から新しい時刻表に改めます。これにつれて山陽本線の特急列車がふえる一方、宇部線は電車が上り、下り五往復少なくなります。

宇部線の削減は年ごとに乗客が減り、採算が合わないため合理化しようというものです。廃止される列車は早朝のものや、屋間の乗客が少ないものが対象で、阿知須駅の場合これまで上り、下りとも二十六本あったのが二十一本になります。乗客は一日平均一千百人でそのうち定期客が約九百人です

なお、職員数については合理化中で阿知須駅は昨年十月まで職員十人だったのが八人になり、駅舎も改札と出札が一人でできるように改造されました。

小郡駅に停車する特急は現在、上り、下り十一本が十四本になります。

早いほど得です

新年度の交通共済

現在、みなさんが加入されている交通災害共済は、三月末日で会員としての資格がきれます。このため町では四月から始まる新年度の会員を募集しています。

この交通災害共済は万一、交通事故にあったとき、その程度に応じて見舞金を支払おうというもので、県内の町村が一緒につくっている制度です。

掛金は一人五百円で、一年間有効です。いま申込まれますと四月一日から来年三月末日まで有効です。もし、年度のながばで申込まれる場合は、申込んだ翌日の年前零時から来年の三月末日までが保障期限となります。しかし会費は早く入った人と同じ五百円です。したがって加入するのは早いほど得ということになります。申込みは三月二十五日まで区長さんへ。それ以後は、役場交通防災対策室で受付けています。

保険証は三月限り

国民健康保険を書き替え

現在国民健康保険に加入しておられる方の保険証は三月三十一日まで使用できますが、四月以後は使用できません。

このため、月末には書き替えをしますので、現在、保険証を病院等にあずけておられる方は、いつでも書き替えが出来るように手元に保管しておいて下さい。書き替えは、区長さんか班長さんを通じて行ないますのでそのときは区長さんか班長さんへご提出願います

なお、児童手当についてのお問合わせは厚生課へどうぞ。

私のひとこと

自信・実行力・誇り

判っているが、なかなか守れない。だから私自身の目標であり、いましめとしていることに『自信』『実行力』『誇り』の三つがあります。この『自信』はすべてのことに持とうということはむつかしいが、自分の仕事を通してもつことは誰にもできることではないでしょうか。

「このことだけは誰にも負けないそれが、大きな自信となって『実行力』をつちかい『誇り』をもつことにもつながると思います。『自信』をもつためには学ぶ心、努力する気力もまた必要です。「少しでもそれに近づきたい」。しかし、それに向って進みたいと思う昨今です。

（高野義一・北祝・農協職員）

「沖の原区」を新設

住宅ふえる中学校付近

町では四月一日から阿知須中学校付近を「沖の原区」として新しい行政区を設けます。

中学校付近は現在、飛石区に入っていますが、新しい住宅がつぎつぎと建ち、将来もさらに増加の傾向にあるため飛石区を分割、新たに行政区を設けるものです。町の行政区はこれで四十一になります。

区域は国道一九〇号線のバイパス計画線（宇部線西方）から浜表までの間、北は目上と接し、南は井関川まで。校区は阿知須小学校に入ります。

現在、この区域で飛石に属しているのが二十四世帯。浜表が三世帯です。

なお、若山産業前山社宅の周辺にも新しい住宅がふえていますが、これは前山区となります。

今月初の支給

児童手当四十一人

今年の一月から児童手当制度が発足しましたが、三月に一回目が支払われます。

今回支払いを受けられる人は、児童手当の認定請求を出された人のうち、受給資格者として町長から認定の通知をうけた人です。本町の対象者は三十八世帯、四十一人で、これらの人には一・二月分か一月分が山口銀行の頁金口座に振り込まれます。この児童手当は十八歳以下の子が三人おり、しかも三人目以上が四歳以下の児童に支払われるもので、一人一カ月三千円です。児童手当の受給資格者は毎年六月中に「現況届」を町長に提出しなければならないことになっており、六月分以降の児童手当については、この「現況届」の提出をまって支払われますので、忘れずに提出ください。

なお、児童手当についてのお問合わせは厚生課へどうぞ。

善意はここに

◆香典返し＝一万円＝藤田研介さん（引野）は母キヨさんの、西村重一さん（砂二）は父弥十さんの、上野征二さん（寺河内）は母トシコさんの、浜崎菊一さん（細南）は母トキノさんの、原賢午郎さん（岩辻）は父義輔さんの。「五万円＝石川隆輔さん（西条）は父安一さんの香典返しとしてそれぞれ町社会福祉協議会へ寄付。

◆ぞうきん＝マ松風会（西条）と鴨の原老人クラブ（南・北祝条）は百四十枚を町内三校に。また、鴨の原 老人クラブは 岩井久生さんから町に寄贈されたものの。

◆樹木＝マ県谷水利組合（丸山哲男組合長）は高さ約十メートルの松の木一本を役場に寄贈。奉仕で庁舎南側に植付けました。

3月の行事予定

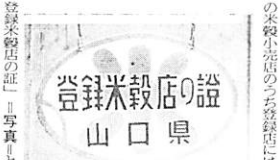
13日	防火対象物の立入り検査
14日	心配ごと相談（前10時～後3時） 乳児検診（後1時～3時） 町内駅伝主将会議（後7時）
15日	阿中卒業式（前9時半）
16日	幼児学級（後1時半）
17日	井小卒業式（前9時半）
18日	阿小卒業式（前10時）
19日	第22回町内駅伝（前10時半阿小グランドをスタート）
22日	豚コレラ・豚丹毒の予防接種 母親学級（後1時半）
26日	婦人学級（前10時）

〔会場の記入のないものはいずれも町役場〕

お米は登録店で

納入伝票を受けましょう

お米屋さんから米を買われる場合、納入伝票を受けておられますか？県米穀配給協会では県下の米穀小売店のうち登録店には「登録米穀店の証」＝写真＝という看板をかけるとともに、お米を売るときは納入伝票を渡すよう指導しています。



お米には①内地米（水稲うるち玄米一〜四等の精米）②徳用上米（同五等の精米）③徳用米（陸稲うるち玄米一〜五等、その他の精米）④自主流通米（物価統制令が適用されない米で価格は自由）などに大別されます。

十キログラム当りの価格は次のとおりです。

内地米	一、五二〇円
徳用上米	一、二五〇円
徳用米	一、〇二〇円
自主流通米	一、九〇〇円程度

（業務用は六〇円加算。強化米は精米一〇キロに対して五〇グラム配入し四〇〜五〇円加算。これに容器代として十キロ袋十三円、十五キロ袋十五円程度加わります）

小売店が消費者に渡す納入伝票には米の種別と価格、数量を書くようになっています。

本町の登録店は次の七店です。

（順不同）

上野　義明	（中村）
坂野八重子	（小古郷東）
工藤記代志	（東）
古谷美津子	（築地）
中村　昭三	（西条）
大沢　茂六	（中村）
阿知須農協	（浜）

町内あれこれ

正式発表は二千八世帯

国勢調査の結果

昭和四十五年十月一日現在でおこなわれた国勢調査の結果、概数による世帯数は二千七世帯として扱ってきましたが、このたび総府統計局から二千八世帯と正式発表されました。こんごはこの数字を使いますのでご了承ください。人口は八千三千五人で、この数字は変りません。

	男	女
計		
卒業生	二一四	六六　五八
進学	六二	五七
就職	四	一

（阿知須小学校）

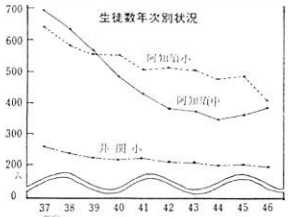
卒業生	三九	二三　一六
新入生	一四	一四　一〇

（阿知須中学校）

卒業生	二七	三九
新入生	六六	三五　三〇

（井関小学校）

なお、本町の生徒数の推移は上のグラフのとおりです。



就職は四人

中学の卒業生

三月は卒業シーズン。本町の小中三校でも卒業生を送り出しますが、中学校は前年より卒業生が減り、新年度入学予定者は卒業生よりも少なくなっています。特に阿知須小学校は昨年より卒業生が四十九人減っているのがめだちます。

（阿知須中学校）

	男	女
卒業生	二一四	六六　五八
進学	六二	五七
就職	四	一

（阿知須小学校）

卒業生	三九	二三　一六
新入生	一四	一四　一〇

（井関小学校）

卒業生	三九	二三　一六
新入生	一四	一四　一〇

なお、本町の生徒数の推移は上のグラフのとおりです。

☆☆☆☆☆広橋さんに感謝状

人命救助で小郡署から

阿知須農協の広橋正芳さん（36）＝引野区＝は人命救助の功でこのほど小郡警察署長から感謝状を受けられました。

昨年の六月十日、出張で秋穂町に行った際、同町下村の左尾地で小学生が溺死しようとしているのをスポンのまま飛び込み、救助したものです。

●岡村さんが○●○●町本因坊に○

町内の囲碁愛好者を集めての第十八回視場で開かれた囲碁大会が二月十三日町役場で開かれました。この大会には十五名が参加、A級（五段以上）、B級（六級以下）に分れて盤上に熱戦を展開しました。

この結果、A級は川崎茂夫さん（築地）、B級は岡村久寿男さん（築地）がそれぞれ一位になり、両者で王座を競い、岡村久寿男さんの本因坊が決りました。

成績は次のとおり。

（A級）①川崎　茂夫（築　地）
②大田　繁雄（向井関）
③塩谷　栄（東）

（B級）①岡村久寿男（築　地）
②小林　立雄（中　村）
③西村　正夫（井　関）

（写真は囲碁会場で）

町から六人入選

防火ポスター

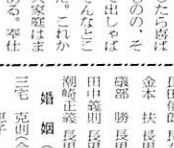
出三地区危険物安全協会では毎年、火災予防運動の一つとして小中学生から防火ポスターを募集していますが、今回は本町から六人が入選しました。

（井関小学校）
江本　和浩（一年・河内）
片山　英昭（五年・河内）
福増　浩一（六年・井関）

（阿知須小学校）
井本　浩一（六年・南祝）
北山　浩（同・砂三）
猪野　孝幸（同・浜）

人　家庭員　老人奉仕

「私たちは仕事としてやっているだけですが……」と謙遜していう。しかし、老人の世話は仕事だからというだけではなかなかできないのが実情。現在、老人家庭奉仕員が担当している年寄りは十一人。本当の一人暮しは一人である。年齢は六十二歳から最高八十六歳。経済的には困るようなことはないが、寝たきりというのが七人。床についていて手を借りて座ったら座ったまま、寝たら寝たままという人たちである。中には三十年ばかり寝ている人もある。



粟屋梅子さん　藤村ミサオさん

寒仕事はそうしたお年寄りの世話をするのだが、この制度が本町にできて二年半。今ではこの二人がこうした老人の心の支えとも為る存在である。

仕事は週二回ずつ老人を訪ね着替え、洗濯にはじまり、風呂に入らせたり、身体を洗ってあげたり、中には買出しもしておかなければならない。便所へ行っての手間どって下着の汚れるのも多い。そうした人の洗濯もある。子どもなら何もいわないが、老人は感情高い。それらを扱うのは簡易ではないことが判る。

「経済的に困らないし家族もある」といってもみなさびしがっている。同じ屋根の下に子や孫たちと住んでいてもあまり話をしてもらえない。他所へ行ったたちも寄りつかないというところが多い。だから、この人たちが行くと話相手になってくれる。それで心がほぐれてゆく。老人が人間性をとりもどすのもこんな時である。

「仕事だから」という藤村、粟屋さんは心から世話をしている。「寒仕事員としてふさわしい人を得ている」と町へもおねがいのことばをいただく。だが、この人たちにとって、もっとあるべきことがあるのではないかと思うものの、その家の人をさしおいて出しゃばることもできない。そんなところに悩みがあるようだ。これからさき、こうした老人家庭はますますふえる傾向にある。寒仕員の仕事もまたふえるだろう。それだけに「お年寄りに愛を、寒仕員に理解を」一層望まれるところである。藤村さんは恵比須区、粟屋さんは岩倉上。

療養費は年ごとに増加

国民健康保険——正しい利用を考える——

(3) 相互扶助の精神

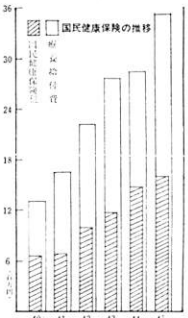
先月は保険税額の決め方など記しましたが、今回はこれを納めている人にはどんな恩典があるか述べてみましょう。

国保のねらいは、わたしたちが病気になったり、けがをしたりしたとき国保会計から、その医療費の一部を負担しようというものです。その額は医療費の場合、総額の七割（残り三割は本人負担）出産したときは助産費として二万円育児手当として六カ月で千二百円また死亡したときは葬祭費として二千円を支給することになっています。

保険は万一の場合、経済的な保証をしようという制度であって、生命保険、損害保険などと似通っています。国保の納付額の最高は年間八万円です。よく「病気もしないのに健康保険料を納め一損をした」といわれる人がありますが保険料は納められたかも知れませんが、むしろ、病気をしなかったことを喜ばれたいものです。逆に、大きな手術をして「多額の医療費を支払うところだった」が、保険があって助かった」といわれる人もあるわけです。助けたり、助けられたりする相互扶助の精神によっての制度が成り立っているのです。

支払い方法としては加入者（被保険者）が保険証を持参して医療費を払うときはそこで三割だけ払えばすみます。しかし旅行中に急に病気になり保険証なしで治療を受けたとか、医師の紹介で保険のきかない医療機関へ受けたり、コルセットを製作したようなときは本人が全額を払うことになります。

この場合、支払い領収明細書を添えて町に請求すれば、認定された場合、その一部を保険の中から現金で返してもらうこともできるのです。



療養費は毎年、療養給付費に使われています。これは加入者（被保険者）が療養されたときに医療機関に支払っている金額です。これが多くなると、保険税の改定ということになります。

「医者にかかってもらえば保険で払ってもらうのだから」といって、安易な考えは結局、保険税にはねかえってきます。だから、よく考え適切な療養を受けることが大切です。

別表で判るように保険税の約一

第34回阿知須短歌会詠草

この冬は雪降らざれば春月にはとこだく畑に虫わらわかわ　上重　朝子

土埃撒き上ぐる風に鉄骨の揺れ動くて人ら働く　大野キヌエ

日本の選手飛躍せし宮の森金銀銅メダル背に輝く　塞重　きぬ

石持ちて職いたりと伝え聞く健児の塔に朝日照り初む　潮崎　一雄

まさごとの材料とぼしき冬暮よりいぬふくりの花孫はとりくる　正司ウメノ

童持ちて味噌を貰いに通ぐより来る子のあるを嬉しく思う　田村　鶴子

就業のサイレン鳴れば手の煙草半ば残して立ちゆく若き等　中本　幸枝

指導　友広保一先生（山口市）

投稿　三月十日まで　雑詠一首

会場　町会議室　午後一時から

日時　三月二十日　午後一時から

第35回短歌会

ダンプは火花散らしゆく　橋本　叔子

アースの鎖ひきする音しつつ前の

桔梗なびけり阿知須干拓　渡辺　宮子

海よりぞ吹きたぐる風は雨を持ち

冬季五輪をテレビにて見る　部坂　秩子

テレビジョンに映りし吾の横顔が

暴低き母の顔に似しとふ　松代　二郎

我らには所詮かなわぬことなれば

テレビジョンに映りし吾の横顔が

暴低き母の顔に似しとふ　松代　二郎

幼き日父より聞きしものがたり添寝をしつつ子に聞かせおり　原田　英子

新しく建ちたる家の窓の下さざんか紅き車椅子あり　原田　陽子

今日よりは路上教習にうつりたり浮き立つ心おさえかねつつ　原田　陽子

誕生

（おすこやかに）

細田　進（破子・兼安）宇部市上宇部

伊藤　恒夫（たか子・大熊）埼玉県越谷市

日東　小東

一史（信子・長田）大分県佐賀市

本田　小南

兵庫県姫路市　砂三

長江（宮崎）

正明　長江（宮崎）

婚姻

（おしあわせに）

有馬　信夫　洋子（藤井）　宇部市藤曲

安永　良平　久美子（西村）　宇部市松山町

上重　正男　俊枝（久保）　防府市台道

死亡

（ご冥福をお祈りします）

氏名	死亡年月日	年令	部落
原野　義輔	2・7	86	岩辺
大田角太郎	2・8	78	仙在
原田　一郎	2・8	69	畑北
上野トシコ	2・9	67	寺河内
吉本　暁美	2・10	17	旦西
中村　サツ	2・12	85	畑北
酒迎　七三	2・16	74	畑南
立野　テル	2・15	76	西条
浜崎トキノ	2・16	82	畑南
中本シマノ	2・18	79	岩前
江本　悦蔵	2・27	75	東
万作	2・27	72	南祝

新会員募集

ソフトボール同好会

問合わせは教育委員会へ

たばこは町内で

たばこを買うと百円で約十三円のたばこ消費税が入っています。これは、そのたばこを買った市町村に配分されることになっており、大きな財源になっています。

本町の場合、昨年度は約九百十三万円入っています。つまり五メートル幅の道路なら約二千メートル簡易舗装できる金額です。もし町外に通勤されるなら、他の市や町で買っておられる人は、なるべく町内で買っていただくよう協力をお願いします。

自衛官募集

防衛庁では自衛官を募集しています。向学心に燃えるものには夜間の学校通学や国家試験受験への道も容易です。

※陸海空士＝十八歳から二十四歳までの男子。毎日試験を行なっており入隊も毎月です。願書はいつでも受付けています。初任給は二万五千百円。他にボーナスが年四・七カ月分。各種手当もつきます。

防衛大学＝二十三歳まで

航空学生＝二十一歳まで（秋に試験）

問合わせは自衛隊山口地方連絡部宇部出張所（宇部市役所内）か役場総務課へ。案内書もあります。